

[ホーム](#) > [報道発表資料](#) > 令和元年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量等について

プレスリリース

令和元年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量等について

[Tweet](#)

[印刷](#)

令和2年8月31日
林野庁

林野庁は、「特用林産物生産統計調査」により、令和元年の木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量等を取りまとめたところ、令和元年における木質ペレットの生産量は14.7万トンとなりました。

1.当調査の概要について

林野庁は、毎年、「特用林産物生産統計調査」により、特用林産物の生産量等について調査を行い、その生産動向等について公表しております。今回は、そのうち、「木質粒状燃料（木質ペレット）」の生産量等について公表するものです。

2.木質粒状燃料（木質ペレット）の生産動向について

令和元年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産量は前年から1.6万トン増加の14.7万トン（対前年比112.1%）となりました。

一方で工場数は147工場で、前年から7工場の減少となりました。

生産された木質ペレットを用途別に見ると、燃料用としての生産がほとんどを占め、14.2万トン（構成比96.7%）となりました。

また、原料入手別に見ると丸太・林地残材からの生産が6.3万トン（構成比43.0%）、製材工場等残材からの生産が5.9万トン（構成比40.3%）、建設発生木材が2.4万トン（構成比16.4%）となりました。

丸太・林地残材から生産されたものの樹種別で見ると、スギが3.8万トン（構成比60.2%）、マツが1.9万トン（構成比29.4%）、ヒノキが0.5万トン（構成比8.1%）となりました。

詳細は添付資料を御覧ください。

<添付資料>

[別添1 木質粒状燃料の用途別生産量内訳等\(PDF：95KB\)](#)

[別添2 木質粒状燃料の原料入手区分別生産量及び含水率\(PDF：122KB\)](#)

[別添3 丸太・林地残材から生産した樹種別生産量\(PDF：125KB\)](#)

[参考資料\(PDF：89KB\)](#)

お問合せ先

林政部木材利用課

担当者：木質バイオマス推進班 山下、根本

代表：03-3502-8111（内線6121）

ダイヤルイン：03-6744-2297

FAX番号：03-3502-0305

別添 1

木質粒状燃料の用途別生産量内訳等

木質粒状燃料

(単位：生産量＝トン、生産者数＝人、工場数＝工場)

都道府県	生産量	用途別生産量内訳				生産基盤	
		工業用	燃料用	農業用	その他	生産者数	工場数
01北海道	12,053.0	-	12,042.8	-	10.2	55	18
02青森	2,541.8	-	2,541.8	-	-	13	3
03岩手	5,473.3	-	3,608.9	1,864.4	-	11	6
04宮城	2,260.2	-	2,260.2	-	-	9	7
05秋田	6,810.4	-	6,810.4	-	-	12	7
06山形	3,035.8	-	3,035.8	-	-	10	6
07福島	5,118.8	-	5,118.8	-	-	19	4
08茨城	852.9	-	852.9	-	-	11	4
09栃木	-	-	-	-	-	-	-
10群馬	1,326.0	-	1,326.0	-	-	4	2
11埼玉	555.4	-	555.4	-	-	5	2
12千葉	-	-	-	-	-	-	-
13東京	x	-	x	-	-	4	1
14神奈川	-	-	-	-	-	-	1
15新潟	3,577.5	-	3,362.0	-	215.5	26	9
16富山	1,327.9	-	1,327.9	-	-	8	3
17石川	696.0	-	336.4	45.0	314.6	13	7
18福井	1,149.3	-	1,149.3	-	-	7	4
19山梨	1,377.2	-	1,377.2	-	-	7	4
20長野	5,758.6	-	5,758.6	-	-	11	4
21岐阜	3,421.4	45.8	3,375.6	-	-	16	6
22静岡	1,732.0	-	1,732.0	-	-	5	2
23愛知	100.8	-	100.8	-	-	2	1
24三重	167.6	-	165.7	-	1.9	5	1
25滋賀	76.0	-	76.0	-	-	5	2
26京都	x	-	x	-	-	7	2
27大阪	-	-	-	-	-	-	-
28兵庫	414.7	-	414.7	-	-	13	4
29奈良	2,636.8	-	2,636.8	-	-	5	3
30和歌山	31.7	-	31.7	-	-	3	2
31鳥取	-	-	-	-	-	-	-
32島根	130.5	-	130.5	-	-	4	2
33岡山	25,766.0	70.0	23,396.0	800.0	1,500.0	5	2
34広島	112.9	-	112.9	-	-	3	3
35山口	x	-	x	-	-	4	2
36徳島	507.0	-	507.0	-	-	8	3
37香川	-	-	-	-	-	-	-
38愛媛	6,411.3	-	6,411.3	-	-	8	3
39高知	5,044.5	-	5,044.5	-	-	10	5
40福岡	68.4	-	68.4	-	-	8	1
41佐賀	30.0	-	30.0	-	-	1	1
42長崎	-	-	-	-	-	-	-
43熊本	2,080.8	-	2,080.8	-	-	12	3
44大分	-	-	-	-	-	-	-
45宮崎	19,467.6	-	19,467.6	-	-	40	6
46鹿児島	-	-	-	-	-	-	-
47沖縄	x	-	x	-	-	1	1
R1合計	147,321.2	115.8	142,453.8	2,709.4	2,042.2	390	147
H30実績	131,400.5	448.0	126,216.9	2,422.1	2,313.5	396	154
対前年比	112.1%	25.8%	112.9%	111.9%	88.3%	98.5%	95.5%

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

(注2) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

別添 2

木質粒状燃料の原料入手区分別生産量及び含水率

都道府県	計 トン	丸太・ 林地残材 トン	製材工場 等残材 トン	建設発生 木 材 トン	その他 トン	含水率 %
01北海道	12,053.0	11,182.0	871.0	-	-	9.0
02青森	2,541.8	1,794.5	354.0	393.3	-	10.0
03岩手	5,473.3	-	5,473.3	-	-	10.0
04宮城	2,260.2	240.0	1,780.2	240.0	-	6.9
05秋田	6,810.4	-	6,810.4	-	-	8.0
06山形	3,035.8	2,620.2	415.6	-	-	10.0
07福島	5,118.8	5,058.5	60.3	-	-	10.0
08茨城	852.9	710.5	x	x	-	10.0
09栃木	-	-	-	-	-	-
10群馬	1,326.0	1,303.0	23.0	-	-	9.0
11埼玉	555.4	91.2	464.2	-	-	13.9
12千葉	-	-	-	-	-	-
13東京	x	-	x	-	-	x
14神奈川	-	-	-	-	-	-
15新潟	3,577.5	3,198.3	379.2	-	-	8.1
16富山	1,327.9	1,188.9	139.0	-	-	9.9
17石川	696.0	144.0	552.0	-	-	11.0
18福井	1,149.3	66.9	1,082.4	-	-	10.0
19山梨	1,377.2	748.5	628.7	-	-	9.0
20長野	5,758.6	5,687.0	71.6	-	-	9.0
21岐阜	3,421.4	1,219.0	2,202.4	-	-	14.0
22静岡	1,732.0	1,532.0	200.0	-	-	7.0
23愛知	100.8	-	100.8	-	-	10.0
24三重	167.6	62.0	105.6	-	-	8.0
25滋賀	76.0	-	19.0	7.0	50.0	9.7
26京都	x	x	x	-	-	x
27大阪	-	-	-	-	-	-
28兵庫	414.7	183.2	231.5	-	-	9.0
29奈良	2,636.8	5.8	2,631.0	-	-	11.0
30和歌山	31.7	6.7	5.3	8.0	11.7	16.6
31鳥取	-	-	-	-	-	-
32島根	130.5	36.9	93.6	-	-	9.0
33岡山	25,766.0	2.9	25,763.1	-	-	6.0
34広島	112.9	5.9	107.0	-	-	8.0
35山口	x	x	x	-	-	x
36徳島	507.0	112.0	395.0	-	-	9.6
37香川	-	-	-	-	-	-
38愛媛	6,411.3	5,927.0	484.3	-	-	8.0
39高知	5,044.5	1,592.2	3,452.3	-	-	10.0
40福岡	68.4	-	68.4	-	-	11.5
41佐賀	30.0	-	30.0	-	-	10.0
42長崎	-	-	-	-	-	-
43熊本	2,080.8	-	1,673.8	407.0	-	11.0
44大分	-	-	-	-	-	-
45宮崎	19,467.6	17,136.9	1,973.7	-	357.0	9.8
46鹿児島	-	-	-	-	-	-
47沖縄	x	-	-	x	-	x
R1合計	147,321.2	63,293.6	59,385.6	24,223.3	418.7	-
H30実績	131,400.5	40,326.2	66,601.2	21,830.6	2,642.5	
対前年比	112.1%	157.0%	89.2%	111.0%	15.8%	

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

(注2) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

別添3

(木質粒状燃料) 丸太・林地残材から生産した樹種別生産量

都道府県	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	樹種	生産量 トン	生産量 計 トン
01北海道	-	-	-	-	マツ	11,182.0	-	-	11,182.0
02青森	スギ	1,410.5	-	-	-	-	広葉樹	384.0	1,794.5
03岩手	-	-	-	-	-	-	-	-	-
04宮城	スギ	200.0	-	-	-	-	その他	40.0	240.0
05秋田	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06山形	スギ	704.4	-	-	マツ	1,907.2	広葉樹	8.6	2,620.2
07福島	スギ	4,978.5	-	-	マツ	80.0	-	-	5,058.5
08茨城	スギ	487.2	ヒノキ	x	-	-	その他	x	710.5
09栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10群馬	スギ	235.0	-	-	マツ	715.0	広葉樹	353.0	1,303.0
11埼玉	-	-	-	-	-	-	その他	91.2	91.2
12千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14神奈川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15新潟	スギ	3,198.3	-	-	-	-	-	-	3,198.3
16富山	スギ	1,188.9	-	-	-	-	-	-	1,188.9
17石川	スギ	140.0	ヒノキ	2.0	マツ	2.0	-	-	144.0
18福井	スギ	66.9	-	-	-	-	-	-	66.9
19山梨	スギ	80.0	ヒノキ	160.0	マツ	119.6	その他	388.9	748.5
20長野	スギ	1,135.0	ヒノキ	151.1	マツ	4,400.9	-	-	5,687.0
21岐阜	スギ	781.0	ヒノキ	243.7	マツ	194.3	-	-	1,219.0
22静岡	スギ	650.0	ヒノキ	882.0	-	-	-	-	1,532.0
23愛知	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24三重	スギ	31.0	ヒノキ	15.5	-	-	その他	15.5	62.0
25滋賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26京都	スギ	x	ヒノキ	x	-	-	その他	x	x
27大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28兵庫	スギ	141.9	ヒノキ	13.0	-	-	その他	28.3	183.2
29奈良	-	-	-	-	-	-	広葉樹	5.8	5.8
30和歌山	スギ	6.0	ヒノキ	0.7	-	-	-	-	6.7
31鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32島根	スギ	36.9	-	-	-	-	-	-	36.9
33岡山	-	-	-	-	-	-	広葉樹	2.9	2.9
34広島	-	-	-	-	-	-	広葉樹	5.9	5.9
35山口	スギ	x	ヒノキ	x	-	-	-	-	x
36徳島	スギ	106.8	ヒノキ	4.6	マツ	0.6	-	-	112.0
37香川	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38愛媛	スギ	5,316.0	ヒノキ	611.0	-	-	-	-	5,927.0
39高知	スギ	1,134.0	ヒノキ	458.2	-	-	-	-	1,592.2
40福岡	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42長崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43熊本	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44大分	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45宮崎	スギ	15,295.0	ヒノキ	1,841.9	-	-	-	-	17,136.9
46鹿児島	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R1合計	スギ	38,113.6	ヒノキ	5,139.9	マツ	18,601.6	広葉樹 ・その他	1,438.5	63,293.6
H30実績	スギ	24,565.3	ヒノキ	3,400.5	マツ	11,437.9	その他 ・広葉樹	922.6	40,326.2
対前年比		155.2%		151.2%		162.6%		155.9%	157.0%

(注1) 端数処理の関係上、各項目の数値の和が合計値と一致しないことがある。

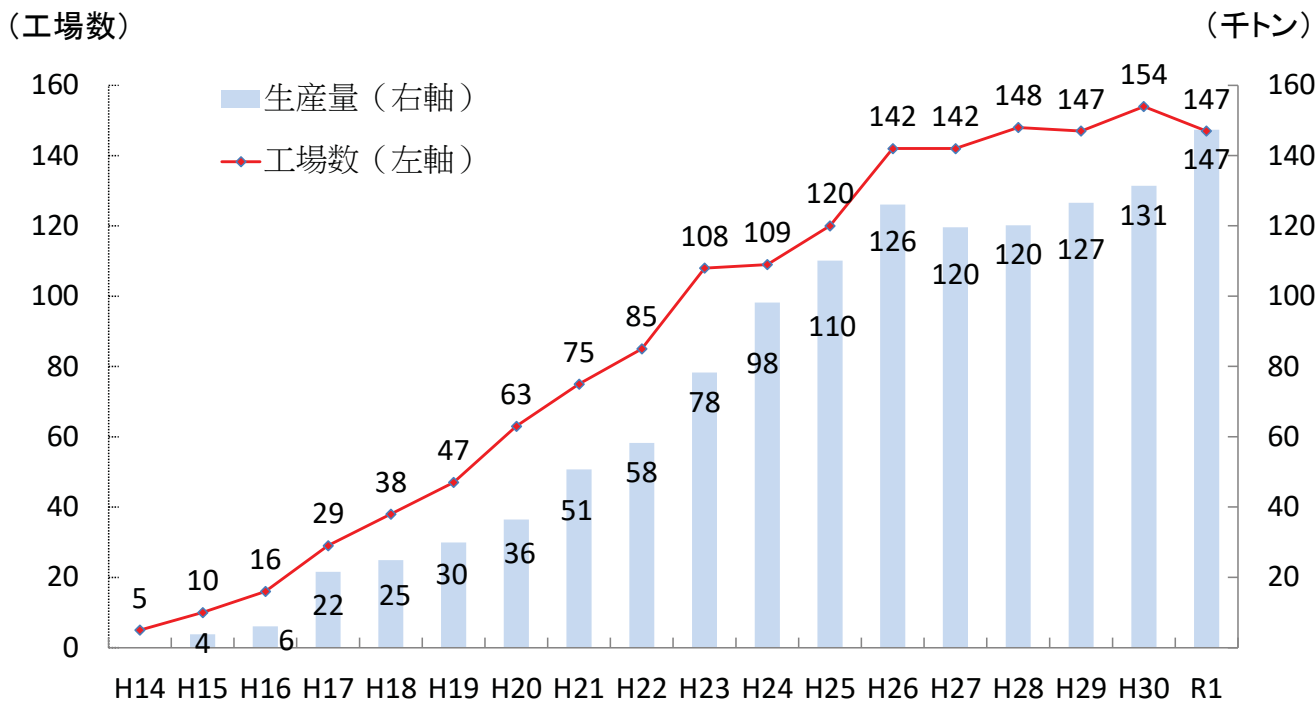
(注2) 「丸太・林地残材から生産した樹種別生産量」について、複数の樹種を1項目で回答している場合は、主たる樹種へ計上している。

(注3) 調査対象数が2工場以下の都道府県については、調査結果の秘密保護の観点から、「x」表示としている場合がある。

【参考資料】

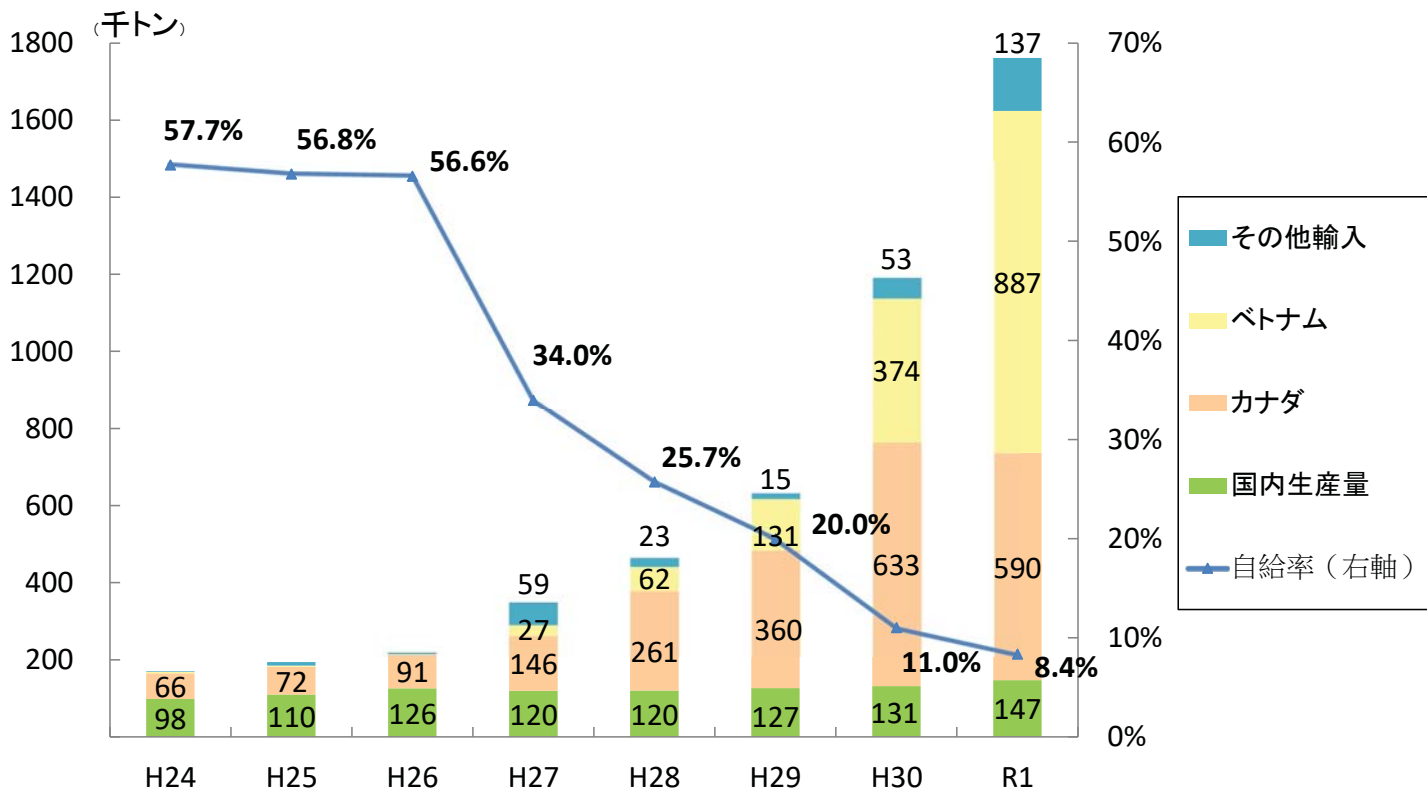
1. 木質粒状燃料(木質ペレット)生産量及び工場数の推移

- 令和元年における木質粒状燃料(木質ペレット)の生産量は、147,321トン(前年比15,921トンの増)。
- 令和元年における木質粒状燃料(木質ペレット)の工場数は、147(前年比7工場の減)。



2. 木質ペレットの輸入量・自給率の推移

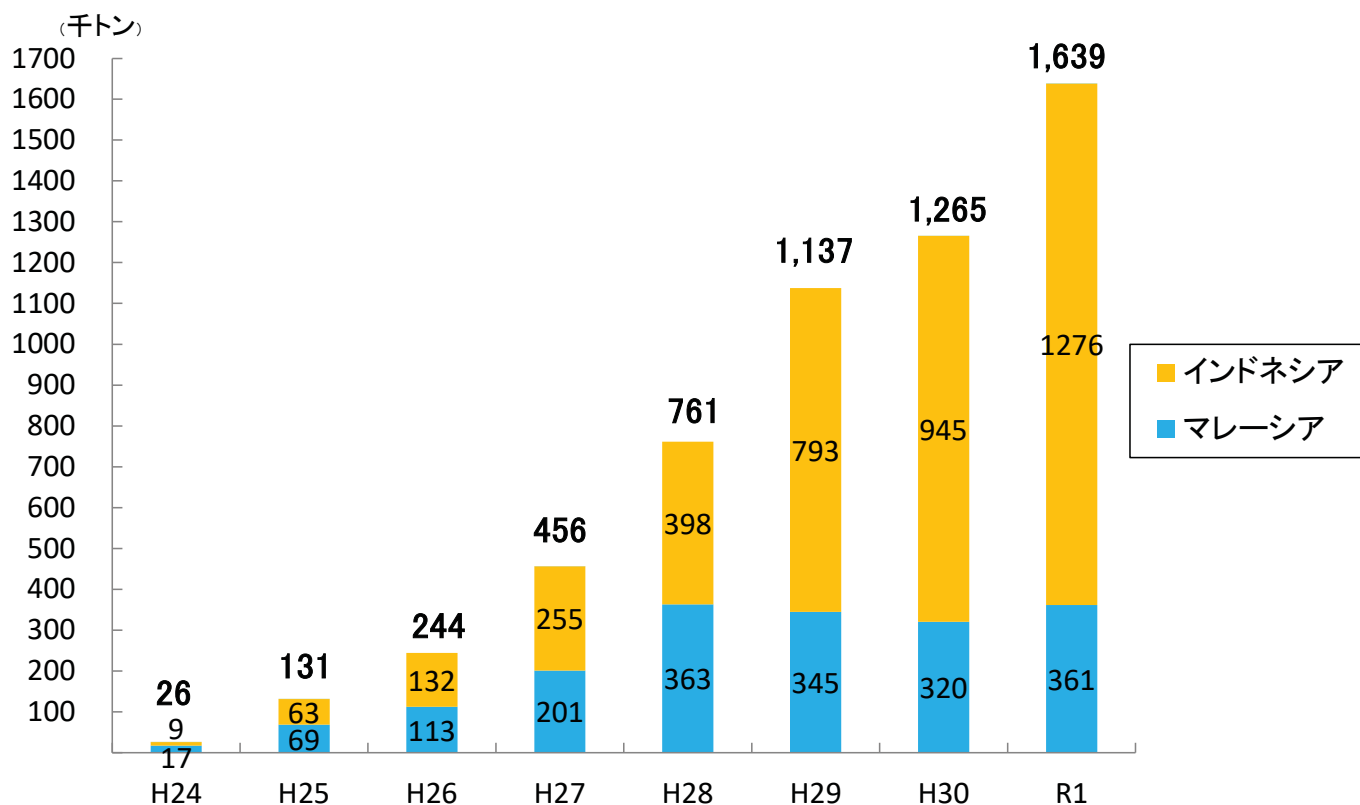
- 令和元年における木質ペレットの輸入量は、前年比52.3%増の161.4万トン。
- 木質ペレットの自給率は、前年比2.6ポイント減の8.4%へ下落。
- 主にベトナムからの輸入が増加しており、その他ではタイ、マレーシアからの輸入が増加傾向。



※輸入量は「貿易統計」における木質ペレット(関税品目コード4401.31.000)の合計。

3. PKSの輸入量の推移

- 木質ペレットの代替燃料として競合関係にあるPKS(ヤシ殻)の輸入量は増加傾向を維持。
- 令和元年におけるPKS輸入量は、前年比29.5%増の163.9万トン。
- 主な輸入先国はインドネシアとマレーシア。



※「貿易統計」におけるパーム油かす及びパーム核油かす(関税品目コード2306.60.000)の合計。